

授業科目	* 看護研究の基礎				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NU21407J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	溝部 昌子、小野 正子、石井 美紀代、吉原 悦子、財津 倫子、中原 智美							
授業概要	研究的思考に基づいた看護実践に必要な研究手法について実践的に学ぶ。リサーチクエスションのたて方、情報検索、研究倫理、研究計画、研究実施、データ収集、結果のまとめ、考察、論文化の一連の流れを体験し、看護における課題解決の意義を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の一連の流れを順序立てて説明できる。</li> <li>2. リサーチクエスションについて多角的な情報検索により、焦点化された研究目的を設定できる。</li> <li>3. 研究目的に対し、合理的な研究計画を立てられる。</li> <li>4. 研究実施手順書に基づき、円滑に研究を推進できる。</li> <li>5. 研究説明文書・同意書を作成し、適切に対象選定が行える。</li> <li>6. 研究データを収集し、適切に入力、集計できる。</li> <li>7. 研究結果をまとめ、考察できる。</li> <li>8. 研究抄録を規定通りに作成し、効果的なプレゼンテーションが行える。</li> <li>9. 研究成果を看護に利用する意義を説明できる。</li> <li>10. 協働学習により学生・教員共に課題解決に取り組み、個人及び集団の能力を発揮できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	10	50	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			10		20		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5		20		25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5	10	10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				5		10	15	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
看護研究の一連の流れを理解し、自身のリサーチクエスションを解決するための研究方法を探求し、合理的に計画できる。研究実施においてはグループ学生・教員の特性や能力を活かして役割分担し、研究実施の推進力となる。科学的思考に基づいた看				看護研究の一連の流れを理解し、与えられた課題に沿ってグループ学生及び担当教員と協力して、計画的に学修を進めることができる。看護研究が看護実践に役立つ事例を理解できる。				

護実践を区別して捉えることができ、看護の学修・実践に適用することを指向する。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1.研究とは(溝部昌子、全員)4/15 看護と研究 研究の流れ リサーチクエスト 情報検索 グループ希望	教科書、配布資料を用いた講義 *課題提出	復習:講義内で配布された参考資料の精読、課題提出(研究の流れ)	60
2	2.研究デザイン(溝部昌子、全教員)4/22 質的研究 量的研究 論文クリティーク	教科書、配布資料を用いた講義 *論文クリティーク提出-担当教員	予習:前回配布資料から論文クリティークするものを1つ選ぶ 復習:論文クリティークを作成し提出する	60
3	3.データマネジメント(溝部昌子)5/13 データ収集 研究の精度 信頼性・妥当性 データ分析	教科書、配布資料を用いた講義	復習:教科書の該当箇所を精読する	60
4	4. 研究の計画と実施(石井美紀代)5/20 研究目的と研究デザイン 研究計画書の作成 研究における倫理的配慮 研究説明と同意文書	教科書、配布資料を用いた講義	復習:教科書の該当箇所を精読する	60
5	5. 研究課題の設定(全教員)5/27 情報検索と今わかっている情報の整理 研究課題の設定 研究計画書の作成	協働学習	復習:情報を整理して研究背景をまとめる	60
6	6. 研究計画書の作成(全教員)6/3 研究方法の決定 実施に必要な物品、人、場所、時間の計画 実施手順書の作成 研究説明文書・同意文書の作成	協働学習	復習:研究計画書、実施手順書の作成	60
7	7. 研究の実施 1(全教員)6/10 観察、実験、測定、インタビュー、調査など	協働学習	予習:実施のための物品準備、場所の確保など 復習:データの保管、進捗管理	60
8	8. 研究の実施 2(全教員)6/17 観察、実験、測定、インタビュー、調査など	協働学習	予習:実施のための物品準備、場所の確保など 復習:データの保管、進捗管理	60
9	9. 研究の実施 3(全教員)6/24 観察、実験、測定、インタビュー、調査など	協働学習	予習:実施のための物品準備、場所の確保など 復習:データの保管、進捗管理	60
10	10. 研究のまとめ方(溝部昌子)7/1 結果の解釈と文章化 考察と情報検索	教科書、配布資料を用いた講義	復習:研究データの整理、情報検索	60

11	11. 研究のまとめ 1(全教員)7/8 データ入力・データ分析 結果の解釈と文章化	協働学習	復習:研究データ集計、データ 分析、文章化	60
12	12. 研究のまとめ 2(全教員)調整 考察の焦点化 文献検索	協働学習	復習:研究データ集計、データ 分析、文章化	60
13	13. 発表資料の作成(溝部昌子)7/22 抄録の作成 パワーポイントプレゼンテーションの作成 発表原稿の作成	教科書、配布資料 を用いた講義 *抄録提出-担当教 員	復習:抄録の提出、パワーポ イントプレゼンテーションの作 成	60
14	14. 研究の発表 1(全教員)調整	協働学習 プレゼンテーション		60
15	15. 研究の発表 2(全教員)調整	協働学習 プレゼンテーション *課題提出	復習:課題提出(看護におい て研究する意義)	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	看護についてこれまで学んだこと、臨地実習での経験などを基に、より深く調べたり学んでみたいことを探しておいてください。既知の情報が多いほど、研究課題は明確になり、学習意義も深まります。			
テキスト	系統看護学講座別巻「看護研究」,医学書院			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の雑誌コーナーでブラウジングし、どこにどのような専門誌があるか、どのような話題が取り上げられているか定期的にチェックする習慣をつけましょう。</li> <li>・大学看護学部卒業論文テーマ一覧をインターネット検索し、看護学生の研究テーマを調べてみましょう。</li> </ul>			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>疑問に思ったこと、知りたいことを調べる方法を実践的に学ぶ科目です。適切な研究により正しい結果が得られ、質の高い看護の提供につながります。研究知識は、看護に限らずあらゆる人の活動や思考の基盤をなし、将来にわたって欠かせないスキルであることを意識しましょう。</p> <p>また、協働学習により、学生・教員の能力や特性を生かし共に学びあうことで、学びの成果をあげることが期待されます。</p>
達成度評価に関するコメント	<p>別途提示する評価表・評価基準に従って評価します。</p> <p>(課題提出 2 回 20 点、研究目的 10 点、研究計画書 10 点、研究実施 10 点、研究説明同意書 10 点、研究結果及び考察 10 点、抄録及び発表 10 点、参加態度 20 点)</p>